



ITC
JAPAN REGION

III

Volume 29
July 2011

目 次

Table of Contents

今期のテーマ	2010-2011 Themes	1
ITC 日本リージョン会長メッセージ (日・英)	President's Message	2
パワートークについて	On Power Talk	3
ITC 日本リージョン第1副会長メッセージ	1st Vice President's Message	4
ITC 日本リージョン第2副会長メッセージ	2nd Vice President's Message	6
ITC 日本リージョン書記・会計メッセージ	Secretary & Treasurer's Messages	7
補正予算	Supplementary Budget	8
世界のクラブから	From the Clubs in Other Regions	9
特別寄稿「ITC の課題—高濱黄太氏」III ・ 少人数クラブの運営と工夫 (神戸クラブ)	Special Contribution, Part III How Small Clubs Manage Their Activities	10
座談会「これからの ITC の課題」1, 2	Round-Table Talk	12
地域社会とともに育む①~④	<i>Hagukumi</i> and Learning with Community	14
会長基調演説 (日・英)	President's Keynote Address	18
大会前日 TPP/CMT・英語クラブの集い	TPP・CMT・Meeting of English Speaking Clubs	20
次期役員・指名委員・ITC キャッチフレーズ	Japan Region Next Term Officers・ITC Catchphrase	21
会則・決議報告	Reports on the Bylaws	22
書記・年次報告	Annual Report	23
お疲れさま 開会式・議事会議・食事・デコレーション・キット	Opening Ceremony・Business・Lunch・Decoration・Kit	24
ページ・広報・受付・晩餐会・役員就任式・エンターテイメント	Page・Public Relations・Reception・Banquet・Installation・Entertainment	25
特別講演・教育セッション A~E	Special Lecture & Training Sessions	26
スピーチコンテスト (日本語)	Speech Contest (Japanese)	30
スピーチコンテスト (英語)	Speech Contest (English)	31
表彰	Awards	32
東日本大震災によせて	To the Great East Japan Earthquake	33
表紙の丸・私はこう思う	The Impressions on the Circles of Covers	34
編集後記	Message from Editor	
ITC 宣誓&声明文	ITC Pledge & Mission Statement of Japan Region	

日本リージョン第29期テーマ

2010—2011

Japan Region Theme

— HAGUKUMU —



ITC Theme

“Coach for Success”

成功へのコーチ

日本リージョン第29期会長メッセージ

ITC 日本リージョン第29期会長 武内 浩子

会報で皆様へご挨拶を申し上げるのが早や最後になりました。

今期、一番育てていただいたのは私ではないでしょうか。多くの場が与えられて、いろいろなことを経験することが出来ました。皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

そこで最後に私が会長を1年間務めて、学んだことを書いてみましょう。人へのやさしさ、言葉のやさしさ、チームワークの大切さ、謙虚さ、耳を傾けること、感謝、失敗から学ぶことの大切さなどなど。1人では出来ないことも大勢でやれば出来ることばかりです。その良い例がリージョン大会です。

来年、皆様と名古屋で再会できることを楽しみにいたしております。

さらに日本リージョンが発展しますことを祈りつつ・・・

President's Greeting

Hiroko Takeuchi

The 29th Japan Region President

Now is already the time to express my greeting to you for the last time in the magazine.

I must be the one who has been nurtured (Hagukumu) the most during the term. I have experienced a lot of things through many opportunities provided. I would like to take this occasion to express my appreciation to you all.

Let me list up the things I have learned during my office for one year as the President: tenderness toward others, warm language, importance of teamwork, modesty, listening attentively, importance of learning from mistakes, and so on. Things we can't do by ourselves can be done if we put our powers together. The Region Conference is its good example.

I look forward to seeing you again at the Region Conference to be held in Nagoya next year.

Wishing that Japan Region will prosper furthermore.

Power Talk って???

次期会長 葛谷 美紀子

紛らわしい ITC 用語の意味をチェックしてみました。

POWER*talk* International

ITC 会則第 1 条 1.2. ブランドネーム

この組織は、POWER*talk* International をブランドネームとしてマーケティングする。

「ITC」は会の正式名称で、ITC 役員会である国際役員会を指す時や会則および常規、会費を示す時に使われます。ITC 役員会は、#92-March 2011 にて、「私たちのブランド名をきちんと使用しパワートーク・インターナショナルという名前をそこから広く大きな世界へと広げていってください」としています。

Power Talk ITC

教育資料のひとつ。

ピンク・黄・青の 3 冊一体になった翻訳版は、日本リージョン資料 B-21 (1,000円)

POWER*talk* Short Course

Power Talk ITC の内容に、「技術／視覚補材」を加え 6 課題に纏め直した研修資料。会員のスピーチやプレゼンテーションのレベルアップと、外部の人向けに研修会を開き、興味を持った人に入会してもらおうという目的で設定されています。このパワートークショートコース資料を使って、ITC 内だけでなく、外部に向けても研修ができる資格が Trainer (トレーナー) です。

Fellow of ITC

国際レベルにおいて、会員の教育を指導する資格取得者。申請し、テストを受けて基準に満ちた人が資格を与えられます。国際役員会からの要請を受けて、リージョン大会での国際公式訪問者や研修のリーダーを務めます。フェローオブ ITC の称号保持のために、他のフェロー (または志願者) の評価を行なうこともあります。また、パワートークショートコースを発表したい会員のために、リージョン内でトレーナーの養成を行い、チャンスあるたびに研修を発表するように勧めます。

POWER*talking*

ITC 発行の広報誌。記事の内容は教育資料としても価値があるものです。

ITC 発行の Newsletter には他に、Coach for Success、From the Boardroom、POWER*lines* 全て、国際のウェブサイトで見ることができますので、ご覧ください。

IMS (ITC Management Service)

ITC 管理サービス。ITC 役員会が契約して管理業務を委託しています。

ITC 会則第 19 条 19.管理運営を参照してください。

参考資料：[ITC 会則 2009] [ITC 用語 2008.1 改訂版]

第一副会長メッセージ

『出前講座』の報告

第一副会長（プログラム・教育委員長） 沢田 郁

会則修正に伴い「各レベルのプログラムと教育の向上を援助する」ことが加えられた今期委員会の任務は、大きな責任を与えられた一年となりました。ITC 活動の基本である、クラブレベルの教育の援助を最優先に考え、『出前講座』の企画を行う中において、5つのクラブにリーダーを派遣することが叶いました。

1. 安芸クラブ 「じょうずな聴き方」 90分ワークショップ（2010年11月12日）

リーダー：石川恵悟（東葛 名城） 参加者：クラブ会員21名 ゲスト37名 計58名

リーダーの自己紹介により会場は爆笑の渦に包まれ、参加者の心が一つに纏まる中で始められたワークショップは、この講座のテーマである「聴くこと」とクラブのテーマである「自己表現」とを関連づけて進められ、参加者には予め「この講座に参加するに当たりどのような準備をしたか」「じょうずな聴き方について学びたいことは何か」が問われており、各自記入の用紙をテーブルごとに全員で回し読みを行いながら、テーブルディスカッションに移行してゆくという、参加者全員で考えるワークショップの形で進められ、聴き方は話し方のまさに裏返しとなるものであり、両者は表裏一体となるものであることが深く心に刻まれた、90分が瞬く間に経過した大変楽しいワークショップでした。

2. 瀬戸内クラブ 「評価」 60分ワークショップ（2011年2月10日）

リーダー：坂口正子（大阪） 参加者：クラブ会員16名 ゲスト28名 計48名

お人柄あふれる温かな開口の言葉で会場を包み込まれたリーダーは、いかに評価が意義あるものであるのかを、解りやすく、且つ明瞭な説明で参加者に語りかけ、人は他の人を見る折に、その人の欠けている部分だけが心にかかってしまい、プラス面である長所をつい見落としがちになってしまうものであるが、相手を認め相手が一番聞きたい褒め言葉を見つけてそれを伝えることが評価の根底に流れている理念であること、但し「褒める」と「お世辞」は全く異なるものであること、それらを幅広い角度から、単に ITC の資料に留まることなく、数多くの著書の中からクイズをも交えたアプローチで行い、クラブ会員によるロールプレーでは会場は微笑みに包まれ、相手の人権を尊重し大切にしながら素直にコミュニケーションを計る自己表現であるアサーショントレーニング、相手の人権を尊重することが重要課題である評価、その両者は将に一体となる関係にあることなどを教示頂けた、思わず時の流れを忘れ、充実したひと時の大変楽しいワークショップでした。

3. 眉山クラブ 「ITC 初歩の議事法」 40分のワークショップ（2011年3月23日）

リーダー：片桐寛子（錦） 参加者：クラブ会員23名 ゲスト17名 計40名

優しい温かな笑顔で歴史の浅い会員の心を和やかに包みこまれたリーダーは、議事法は道路の信号のようなものであり、人がそれを守れば、スムーズに進んでゆき、それは家庭でも ITC の組

織でも同じことであり、会合にはその為の決まりが必要であることを、大変解りやすく説明されて本論への導入とされていました。

歴史の浅い会員でも、クラブ例会には必ず出席し、開会、ロールコールをはじめとする、アジェンダ通りに進められるビジネスに触れているため、その一つ一つの項目ごとにアジェンダの進行に沿って、参加者と温かに語り合いながら進められました。

参加の会員の目は新たな発見と「ではそれは何故？」に対するリーダーからの解説に輝いており、優しく、楽しく、大変深く心に沁み入るワークショップでした。

4. 大分クラブ 「評価」 90分のワークショップ (2011年4月16日)

リーダー：加藤啓子 (甲南) 参加者：クラブ会員10名 ゲスト10名 計20名

5名ずつ4テーブルに分かれての会場設定で、少人数を全く感じさせることなく、温かなリーダーのお人柄も加味された、大変和やかな楽しい90分間でした。リーダーは、「聴く」ということを学ぶことの重要性をまず最初に説かれ、隣り合う2名で組み、相互に簡単なスピーチを行う間、相手は一切言葉を発せず聴くことに集中するよう指示が与えられ、「聴く」ことの難しさ、更にそれがいかに重要なことであることなのかを説かれました。

次に各テーブルから1名ずつがスピーチを行い、1名終わるごとに配布された評価用紙の項目に従って全員で評価を記入し、テーブルごとにディスカッションを行った後、代表者が隣のテーブルのスピーカーの評価を発表する形でワークショップは進められ、会場全員がディスカッションを重ねて意見を纏めてゆくことの出来る、充実感あふれた、思わず時の流れを忘れ、大変楽しいワークショップでした。

5. 姫路クラブ 「知って為になる『ITC会則』」 30分の講義 (2011年5月11日)

リーダー：中野知子 (奈良) 参加者：クラブ会員20名 ゲスト10名 計30名

ITC会則が愛読書だという方は手を挙げて下さい、のリーダーの開口一番の言葉から会場は爆笑の渦につつまれ、終始温かな和やかな雰囲気の中で講義は進められました。

「定款」の持っている会則をも拘束する重要な位置づけの解説は、会則を開いても定款の存在までは心を及ぼすことなく、新たな目を開かせて頂きました。

「ITC」の名称は定款で定められたものであること、「POWERtalk」のブランド名としての扱い方、その両者の違いからスタートした一条ずつの解説は大変役に立つもので、特に条文に使用されている一文字にも大変深い意味が込められていること、第18条に規定されている「クラブの目的はITCの目標および方針を実行すること」の『実行』ということはクラブレベルで初めて使用されている規定であり、他のレベルはクラブの実行の為にあるものであること、等々、普段気付くことのない数多くの学びを与えて頂きました。講座の最後、温かなリーダーからの「仲間を守ってゆくものが会則です」の言葉は大変深く心に響くものでした。

心に沁み入る素晴らしい講座を準備頂いたリーダーの皆様、温かな細やかな心配りでリーダーをお迎え頂いたクラブの皆様、ゲストで参加頂いた皆様に心よりの感謝を致しつつ一年間の活動を収めることが出来ました。

第二副会長メッセージ

第29期 PREM 活動を振り返って

第二副会長 小八木 利子

第29期 PREM 委員会は、「継続会員の維持」「新会員の獲得」を方針と致しました。会員減少・高齢化が顕著な状態の中で、ITC 日本リージョンの組織が活力を持ち、会員の皆様が 楽しく学べるにはどうすればいいのかと、思案しながら活動しました。

- ・会員相互の交流と、一般ゲストの参加を促進する為に、「達成カード」を作成し、他カウンスル・他クラブ訪問は1ポイント、一般ゲスト同伴は2ポイントとし、5ポイント達成で、今期のテーマ“HAGUKUMU”入りのPREMオリジナルピンバッジを贈呈、としました。
- ・A4版のチラシと、両面印刷のA4版リーフレットを新規作成、第3回リージョンメールにてウェブサイトに掲載しました。
- ・リーフレットの完成と共に、ITCのキャッチフレーズを会員に募集、「のぞいてみようITC!! 何かが見つかるITC!!」(カウンスルNo.3ポート神戸クラブ 浜田 有里会員作)が選ばれました。
- ・4月「座談会：ITCの進化にむけて」を開催、講師高濱 黄太氏のお話と、カウンスル・クラブの現状と今後の在り方についての意見交換をしました。本会報P.12, P.13に掲載されています。

一年間の活動を通じて感じたことは以下の通りです。

- ① カウンスル・クラブがそれぞれに熱心に「集い」や、地域との「スピーチコンテスト」「ワークショップ」を企画、実施されました。イベントとしては盛り上がり成功しますが、新入会員獲得には直ぐには繋がらないのが悩みでもありました。PREM活動は、私たち会員自身が、ITCの本来の目的や友と共に学ぶ事を楽しむ素晴らしさを理解・実践して継続的に広めることが大切だと再認識しました。
- ② 今一度ITCの魅力とは何かを分析してみましょう。スピーチと共に、たぐい稀な「議事運営」の教育・訓練にも注目し、男性、若年層、有職者も会員ターゲットに。その為には、例会日を土、日曜日にする等の工夫が要ります。
- ③ チラシ、リーフレットをいつもバッグにしのばせ、リクルートのチャンスをのがさないようにする。思いがけないきっかけで入会された素敵な会員のいくつかの実話があります。
- ④ 英語クラブがないカウンスルに、英語クラブ・バイリンガルクラブ増設の芽が育つことを期待しています。

いずれにしても、1期のみでは成し遂げられない事も多く、リージョン・カウンスル・クラブにおいて、コミュニケーションよく、体験・思い等の引き継ぎがとても大切と思います。

会員継続・新入会員獲得は、一人一人の熱意から始まり、一人一人の熱意に終わります。物の満足から、心の満足へと移り変わっているご時世、ITCの伸びる余地はまだあると考えます。1年間で思ったほどのことができなかった反省も込めて、次期にエールを送り、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

書記と会計のメッセージ

「書記とセクレタリー」

書記 中島 由美子

書記としては「正確な議事録作成と公式の歴史となる役員会の年次報告を編集する事」を大切な任務と心得て臨みました。当初は6時間以上の役員会の議事録を作成することに戸惑いがありました。しかし、先ず作成した議事録を確認の為、6時間以上のテープを何度にも分けて聞き、書き上げて役員会に提出し、役員の皆様からの訂正、付加を頂き、時にはまたテープを聞いて、最終版を送信した時点で、私は同じ役員会を何度も経験し、内容が把握できているのではないかとこれぞITCの学習の醍醐味と楽しめるようになりました。

会長からセクレタリーと言われると、「秘書役として何をすればいいのか」と考えることも多々ありましたが、何でも率直に話し合えるボードの皆様は助けて頂き、書記の役目もセクレタリーの役目も(分けることではないのですが・・・)なんとか達成できそうです。大会議事録、永久保存版の作成が終了した時、リージョン書記からの大いなる解放感が味わえることを期待しつつ、この一年間で授かった素晴らしい出会いと機会に心から感謝致しております。

「リージョン会計の仕事」

会計 柴田 裕美

リージョン会計は

- 1) 銀行又は郵便局にリージョン名義の口座を設け、全ての資金を管理
- 2) 収入・支出を記録し、リージョン基金を役員会の指示の下に管理
- 3) リージョン大会での財務報告
- 4) 会計年度末に、あるいはリージョン役員会の要請があった時は、会計監査のため帳簿と財務報告書を提出する。
- 5) 各クラブの会計より、新入会員入会時の送金送り状、名簿変更時等の多目的フォームの受領、年度末に次年度の年会費を徴収する。
- 6) 予算・財務委員会の職権委員となる。

以上が主な仕事です。

今期は寄付遺贈、東北地方震災の為の義援金窓口業務も行い、各クラブ会計の皆様と多数のメール交換をさせて頂きました。途中交代にも関わらず皆様がきちんと対応して下さいました。皆様ご協力有難うございました。

ITC 日本リージョン 第29期会計補正予算書

The 29th Japan Region Budget 2011.2.1~2011.7.31

収入の部 Revenues

(単位：円)

科 目 Subject	予算額 Budget	備 考 Remarks
前期繰越金	4,317,846	
年 会 費	6,680,000	5,000円×1336名(内8月入会7名)
新入会員	150,000	月割会費
受取利息・雑収入	5,000	
合 計 Total	11,152,846	

支出の部 Expenditures

科 目 Subject	予算額 Budget	備 考 Remarks
会報印刷費・送料	1,750,000	3回発行
リージョン大会補助金	2,000,000	
事務局運営費	2,500,000	
交 通 費		
選出役員	500,000	役員会及び公務100%
任命役員	50,000	役員会及び公務100%
委員会補助	500,000	委員長、委員共70%
役員活動費		
会 長	70,000	
次期会長	20,000	
第一副会長	20,000	
第二副会長	20,000	
書 記	30,000	
会 計	25,000	含 送金手数料
C L O	5,000	
議会法規役員	15,000	
編 集 者	60,000	
役員会会場費	20,000	
常任委員会活動費		
資格認証	12,000	
会計監査	3,000	
予算・財務	2,000	
会則・決議	15,000	
大会準備	300,000	
選 挙	5,000	
国際交流	10,000	
P R E M	180,000	
指 名	15,000	
プログラム・教育	100,000	出前講座交通費20,000円増額
スピーチコンテスト	40,000	
特別委員会活動費		
通信書記	1,000	
派遣員資格確認	5,000	
組織運営研究	5,000	
監 修	15,000	
30周年記念事業準備金	500,000	
慶 弔 費	20,000	慶弔に関する事務用品及び送料
接 待 費	5,000	
役員就任式費	15,000	
CMT経費	200,000	
ITC大会出席者補助金	160,000	スピーチコンテスト出場者など補助金
物品購入費	10,000	
翻 訳 費	100,000	
雑 費	20,000	
小 計	9,323,000	
予 備 費	1,829,846	
合 計 Total	11,152,846	

2011年2月1日

第29期 予算・財務委員会 伊藤容子 瓜生原稔子 津田由貴 小嶋友子

世界のクラブから

EU '92 Region & Club 草の根訪問記

Council No.2 イースト神戸クラブ会長 今井 京子

04年10月、国際交流委員長の私は London で開催された初回の ITW に出席したのが幸運。そこで、エリーザベス (Elisabeth Huthmair) と巡り会いました。彼女はその時 Europe '92 Region の Secretary、続いて2年間 Region 会長となりました。EU '92 Region の華・理知的で美しく、私より一回り以上若い彼女からお誘いを受け、今期こそ Iceland の噴煙で断念しましたが、世界大会の年を除いた毎年、EU へ。

05年5月 EU Seminar はドイツとの国境の街シェチェンにあるポーランド唯一の ITC・Szczecin ITC Club の要請を受け、彼の地・ラマダホテルでの開催です。アナという私年配?の女性が支柱で Member 15名は全て彼女の英語学校の生徒です。貧しいこの国では、英語が出来ると就職に有利だそうです。Member は素朴でいい方達でした。ここで私は Lorna Sheldon から POWERtalk 1・2 をしっかりと学びました。

06年5月 EU Region 大会はエリーザベスの住むオーストリア・リンツ近くのリゾート・Ybbs のホテル・コズミュールで開催。此の地はザルツブルグのエリア、映画“The Sound of Music”以上の景観を楽しみました。大会は明るく華やか。講師陣は F-ITC、元国際会長など。私は Closing Thought を受け持ちました。参加者は Pair も含めて100名位。びっくり!は、この大会 Website/Gallery の Top に私がひとりで掲載されていたこと。日本だと、妃殿下か公式訪問者か会長の頁です、「所変われば品変わる」ものですね。

08年5月 Region 大会はベルギー・アントワープ、ラマダホテル。今、世界の Fashion をリードする街での開催は楽しみ!会長は ITW で来日の Workshop Leader のひとり、トゥルーディです。日本よりの落語一行が人気を博しました。今回も参加者100名位。さて3日後、私はエリーザベス所属のリンツのドナウクラブ・Club Danube ・会員18名の20周年記念例会に駆けつけました。リンツのシラーホテルのレストランの奥まった部屋で夕6時より開会。格別のことはなく、Council 1と2がこの Region にあり、2の会長が祝辞を述べ、若い新入会員の自己紹介風 Speech、そして今・来期会長の Speech。その後 Wine などで乾杯、アラカルト、あっさりとした周年行事でした。

10月 ITW にエリーザベスのご家族と共に初来日されました。
我が Club の Guest Speaker に!
草の根訪問がどんどん広がっていき、
うれしいことです。



20周年記念例会にて

ITCの課題と「学習する組織」について（最終回）

～「学習する組織とITC」～

高濱 黄太

最終回の今回、最初に「これからのITCの対応はどうあるべきか」、そして「学習する組織とITC」について考えたいと思います。

今期の会員数の増減を見ると、増加したクラブの約7割が会員数20名以上。増加の約6割が大都市圏以外の地域。つまり20名以上且つ大都市圏以外のクラブに会員が偏りつつあると考えられます。この偏りの是正が、今後の重要な課題となると考えます。

	近畿	中部	首都	他	総計	構成比
25名以上	7	1	0	19	27	37.5%
20-24名	7	4	0	15	26	36.1%
15-19名	-1	0	5	7	11	15.3%
10-14名	3	0	3	2	8	11.1%
10名未満	0	0	0	0	0	0.0%
総計	16	5	8	43	72	100%
構成比	22.2%	6.9%	11.1%	59.7%	100.0%	

～ITCの対応における基本的な考え方～

まず、課題の解決に向け、共有すべき基本的な事柄を確認したいと思います。

① 顧客を最優先に

会員数は、何より「ITCの魅力を高めた結果、その魅力を支持する顧客が増加する」ことで増加すべきものです。そのためにITCの持つ資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を顧客に対し、優先的に使用することが大切です。

② 2つの顧客をどちらも大切に

これから新規に入会する方も顧客ですが、ITCにとって何よりも大切な顧客は、今、会員である皆さん方自身です。既存の顧客である自分たち自身の満足度の向上が図れるように、常に新鮮な視点でクラブやカウンスル、リージョンの運営に取り組むことが大切です。

③ 事実を把握し共有

ITCはすべての活動において記録を取っているはずですが、断片的な情報に価値はほとんどありませんが、蓄積・整理された情報は資産になります。後々、整理・集計・活用しやすいように工夫をした上で事実を蓄積し、蓄積された情報を広く共有する仕組みが重要です。

～具体的対応（案）～

今後の対応にむけITC内部での議論のご参考に、いくつか対応（案）を示します。

① 小規模のクラブへの支援

- 小規模のクラブへのゲスト訪問を優先的に行う。
- 例会でのプログラム等に関する資金、ノウハウ、人的な支援プログラムを検討する。
- 特定の地域に一つしかない小規模クラブ（岐阜クラブや、横浜クラブ、金沢クラブなど）は、地域の拠点として集中的に支援する。

② 情報の蓄積と共有

- 入会、退会、ゲスト参加数などの情報管理のために、共通フォーマットを作成し、クラブで使用。定期的にカウンスル・リージョンに報告の上、集計・分析・共有を行う。
- 本人の同意を得た上で、ゲストのプロフィールを内部で共有し、新規勧誘活動に利用する。
- 全国のクラブ・カウンスルで行っている例会でのプログラムの内容・評価・講師・費用・連絡先などの情報を共有し、例会企画の参考にする。

③ 規約の積極的な見直し

- クラブ間の交流を促し、小規模クラブの事務負担を減らせるよう規約等の見直しを行う。

④ 小規模クラブでの対応

- 28期リージョン会報NO.3で紹介されている安芸クラブの取り組みは、現実的でとても効果的と考えられます。ぜひご参考にされることをお勧めします。

～学習する組織の原則～ゴールは出発点にある

ピーター・センゲは、学習する組織の原則を以下のように表現しています。

- ◎出来事の背景にある構造に着目し、その構造から変革を行うために、慣行や前提を検証し、見直すことができる組織
- ◎チームと個人がビジョンを共有し、それを自らのものとして責任を持って受け入れる組織
- ◎チームが学習する過程で、自らの絶え間ない成長を図る組織

創設者アーネスティン・ホワイト女史は、「個人の成長は他人との関わりの中でしか得られない」「自分と他人を切り離して成長を考えることはできない」と私たちに伝えていています。この考え方は「学習する組織」の根底にあるものです。

世界がより良くなることを願い、自分が成長すれば周囲が変わり、世界もまたより良くなるという強いビジョンを持ち、互いに関わりながら活動をする。これが ITC なのではないでしょうか。

会員数が減っても、リージョン大会への参加者は減らない事実は、残るべき人が ITC に残っていることを示しています。そして、今もなお日本リージョンは、世界の会員の40%を占める最大の組織です。まだまだ多くの可能性を秘めています。

ITC にとって最も大切なことは、会員数でもクラブでもなく、「ITC の活動を通じて、自らが成長していると実感しているか」であり、「ITC の本質的な価値を再確認し」「ITC という組織が本来目指す目的をしっかりと共有し、そのための活動を行うこと」ではないでしょうか。

会員数の減少は問題です。しかし、この問題に対応するために、組織本来の目的から離れ、会員の獲得に奔走することは、さらに大きな問題を生み出す可能性があります。

本当に大切なことを実現するために、今の事実を見つめ、仕組みを見直し、勇気を持って新しい挑戦をする。80年前に若い女性がはじめた歩みは、今もなお続いています。

創設当時から「学習する組織」である ITC には、自らを変革する能力があります。問題の背景を見据え、その変革が始まる時、会員数の増減は ITC にとって問題でさえなくなると信じています。

少人数クラブの運営と工夫

スローガン：from Minimum to Maximum

テーマ：古い木製の椅子

カウンスルNo.2 神戸クラブ会長 中明 博美

今、私が愛用している木製の椅子には背もたれがありません。八つの部品、すなわち、四本の脚と三本のつなぎの貫と一枚の上板だけです。神戸クラブのメンバーは現在八名で構成され古い木製の椅子とよく似ています。この中の一つがかけても椅子の役目は果たしませんし、八名の誰一人欠けても神戸クラブは成り立ちません。

十六年前の阪神淡路大震災のとき、カウンスル No.2 の編集委員として神戸クラブを訪問した時、たくさんおられた外国人メンバーは去り、少人数のクラブになっていました。私はイースト神戸と神戸クラブのデュアル会員として参加し、1999年の神戸で開催された国際大会の後、ITC を離れました。

四年前、神戸クラブの三十五周年記念例会に参加して、再び会員に復帰し、現在に至っています。少人数クラブですが以前と同様、ITC 国際大会に対する神戸クラブ員の熱意はかわっていません。毎月例会では一人二役もあり全員がスピーチをして、少人数ならではの例会を維持しています。

神戸クラブの会員が増え、また、この愛用の椅子に数本の柱を増やし、背もたれが付けられる椅子になるようにミニマムからマキシマムに成長した神戸クラブを夢見ています。

座談会：「ITCの進化に向けて」

主催：日本リージョンPREM委員会

日時：2011年4月20日（水）13：30～15：30

場所：芦屋ラポルテ西館

出席者：講師・高濱黄太氏、リージョン役員、次期役員、議会法規役員、編集、組織運営委員会、PREM委員、カOUNSL会長、カOUNSL第二副会長



会員数減少や少人数クラブ増加が懸念される中、会報でシリーズ「ITCの課題」を執筆中の高濱黄太氏との座談会が開催されました。テーマは「ITCの進化に向けて」とし、ITCの現状を踏まえ組織の課題と今後の取り組みについて活発に意見交換が行われました。

高濱黄太氏講演から（要約）

“棚卸しからはじめよう”～問題解決には、現状の棚卸しと問題の把握が必要～

- ① 会員数の減少（＝問題とされる事象）→「新規入会者の減少」とITCの「魅力」について。
 - ・新規入会にはITCを「知ってもらう」ことが必須。では、実際にITCについて何を伝えているか。パンフレット・ホームページで伝えていることと、伝えたいITCの魅力は一致しているか。
 - ・ITCでの「コミュニケーション技術向上」は、プログラム以上に、様々な役割と責任を担い、人と交流し培われるのではないか。結果、洗練された人が多いのがITCの魅力では？
- ② 組織課題→「問題」に右往左往する前に、「問題に対応する仕組み」に課題はないか？
 - ・議事法及びその関連用語、様々なプログラムの目的や要点を新人等に説明する仕組みはあるか。
 - ・クラブ・カOUNSL・リージョン。それぞれの組織の役割と責任あるいは権限は明確か。
 - ・役員はなぜ一年で総入れ替えするのか。特にカOUNSLやリージョンレベルになると解決に数年を要するような課題もある。様々な課題解決に向け、組織そのものの課題の点検も必要では？

“課題の解決に向けて”

- ① 「コミュニケーション技術向上」の「2つのプログラム」を理解し、適切に伝える。
 - ・ITCでは、資格認証プログラム・パワートーク等、「説明されているプログラム」と、日常活動を通じて役割を担い、幅広く交流することで成長を得る「説明されていないプログラム」がある。この2つの価値と課題を踏まえ上で「ITCの魅力」を適切に伝える。
- ② 様々な活動を高いレベルで平準化する仕組み・新人を迎えやすい仕組みを築く。
 - ・「魅力」を感じてもらうには、活動の質の向上と分かりやすさが大切。活動の質をチェックする仕組みやゲスト・新人に議事法・用語・プログラムの目的や要点を伝えるツールなど整備する。
- ③ 様々な「資源の再確認」と中長期的課題に対応する「組織的な仕組み」を構築する。
 - ・役員が一年で交替する仕組みは、多くの人が役職に就き、成長機会を得る上で有用だが、数年にまたがる課題解決などは行いにくい。組織やルールの変更もしくは中期計画の策定、実行・検証するなどの方法を検討してはどうか。また、ITC会員の持つノウハウ、ツール、資金等の「組織資源」の再確認と活用を図り、組織の活性化や再生産につなげることも大切。
- ④ 組織としての一貫性を持って課題解決を図る。
 - ・多くの人に魅力を感じて貰い入会者を増やしたいと願うのであれば、「魅力とは何か」を考え、その「魅力を伝える仕組み」や「ゲストや新人を迎える仕組み」を作り、「例会などで伝えたい魅力をしっかり伝える」などの一貫性が必要。組織全体で一貫性を持った取り組みを行う。

“ITCの目的・理念と組織のあり方について”

- ・ITCとはどういった組織か。その目的・理念に遡ることが大切。ITCの魅力と「人」は切り離せない。「数にこだわり人を集める組織」か「質を大切にし、人を選び・育む組織」か、組織の性格付けを明確にし、対応を考える。組織やルールは目的を達成する仕組み（手段）。目的・理念を大切に、手段は柔軟に。仕組みに課題はあっても、ITCの本質的な価値は色あせていない。


（詳しくは会報1～3号「ITCの課題」をご参照ください。）

出席者のご意見 (発言順・抜粋)

- No.8 地域的に遠いのでカウンスルへの参加がやっ
とだ。いろいろな面でリージョンの良さを
もっとシェアしたいと思う。
- No.2 ゲストに来ていただいても「よいところで
すね。でも入会したらスピーチやら役員や
らあんなことをやらされるのかしら」と尻
込みされる。やり続けることで出来るよう
になると思うが。また、どのクラブも会員
の高齢化の問題を抱えている。
- No.1 カウンスル PREM 委員会が発足したがリー
ジョンからの通達も曖昧。パワートークイ
ンターナショナルのこともだれがいつどこ
で決められたのか明確にしていきたい。
疑問に思ったまま一年が過ぎて、だれにも
責任がないというのが現状と思う。
- 会長 役員任期は一年、半年過ぎた頃からわかっ
てくることもあり変えたいと思うが、時間
が足りない。次の役員が同じ視点を持って
いれようまくつなげられるが。リージョン
からの通達は、会報やリージョンメールを
よく読んでいただいたら正確な情報が伝わ
ると思う。
- No.3 No.2 とNo.3 は小さなエリアに19のクラブ
がひしめきあっている。そういうところで
会員を募ること自体に問題があるのではな
いか。会員が減っていることについても、
このままでよい、別に増やさなくてもよい
と思う人もいて、会員の気持ちに温度差が
ある。
- No.4 No.4 は大分、福岡、広島、岡山と広範囲
にわたっているので、九州をひとくくり
にすることも可能ではないか。人数の多い活
発なクラブには魅力があるが、IT を使い
こなせない高齢化したクラブでも“みんな
といたい”という意識でつながっている良
さもある。
- 組織運営研究 現在、クラブやカウンスルの統廃合の問
題は出ていない。組織運営を考える委員会
には中期的展望にたった任期が必要。組織
運営研究などには最低2年は必要ではない
かと思う。
- 次期会長 組織運営研究などは新しい役員と検討し
たい。本日いただいたアドバイスは来期に
反映させたい。
- No.6 高濱先生がお話されたように、新会員獲得
について大切なことは ITC の魅力を伝え
ること。そのためには魅力ある自分たちで
在るべきだと実感している。クラブやカウ
ンスルに機会を与える側として、リージョン
は学習し、魅力あるものであってほしい。
今までの学習の成果をもとに個性を伸ばす
チャンスを与えていただきたい。
- No.5 資格認証プログラムやパワートーク、スピー
チコンテストを表面に出しているが形式的

なもので、実質的には各レベルでお役をす
ることが“ちから”になっている。少人数
クラブであっても役員をすることでクラブ
の一体感を味わえ ITC の良さがわかった。
ITC の良さがわかってきたらずっと続け
ていける組織だ。

- No.2 三世代スピーチフェスティバルを開催した。
地域に浸透して ITC に興味を持つ人が増
えて入会につながれば、ITC も若返りと
広がりができるのではないか。
- No.4 7年間小中学生を対象にスピーチコンテ
ストを行ってきた。保護者には ITC で学ん
でいるからこそこのようなことがやれる、
社会貢献も出来ると説明している。ITC
で経験したことは他の組織で活かすこと
ができて、これはすごいぞと評価が上がる
こともある。ITC で学ぶことの良さを若い
人にどう伝えるかが課題。
- No.7 高濱先生のお話をうかがって、今まであまり
考えていなかったなあと再認識した。自
己満足にならないよう皆さまに支えてい
ただいてやっていきたい。ITC が社会貢献
できるという点では「議事法」を前に出
してよいと思う。できることからやっ
ていこうと思う。

高濱 ITC の魅力とは何なのか、ITC に参加す
るメリットは何かなどを含め、ITC はも
っと幅広い魅力を持った組織なんだとい
うことをもう一度検証する必要がある。ITC
は運営し活動するプロセスで自分を表現
することが求められ、評価をしたり評価を
受けることで「人」が洗練され、感性や意識
を高いところに保つことになる。ITC = ス
ピーチと捉えがちだが、うまくしゃべる
だけでは「人となり」はわからない。組織
の運営方法や議事法を学んで、ITC 以外
の組織で活かすことでも評価が上がる。う
ち出し方を少し変えてみてはどうか。う
まく説明できないが、やっぱり「人」をア
ピールすべきなのではないか。ITC は
組織そのものの性格や在り方を見直
さなければならぬ時期にきている
が、今日のような

話し合いを繰り返し持つことで組織の見
直しができる。このような座談会を設
けて自由に意見を出し合える組織は
少ない。ITC は健康的な組織である。

司会：リージョン PREM 委員長 小八木利子
オブザーバーを含め出席の皆さまからは活発なご発言
がありました。紙面の都合で各カウンスル会長のご意見
を中心に編集しました。

地域社会と共に育む

— 岡崎JAZZストリートをサポートして —

カウンスル No.1 岡崎クラブ 大原 慶子

J A Z Zストリートは最初、神戸に生まれました。この様な素晴らしいイベントが岡崎でも出来ないかと、2006年、ジャズを大変愛する方たちが、岡崎J A Z Zストリートを立ち上げられました。ご縁があったので、ITC 岡崎クラブ会員が、初年度から、サポーターとして参加する事になりました。

サポーターのモットーは三つです。ミュージシャンの方に楽しく出演してもらう。お客様に楽しんでいただく。自分自身も楽しむ。これらの事を忘れずに、会場の準備、ミュージシャンのお世話、受付、会場案内、アナウンス、会場の雰囲気作り、後片付けなどのお手伝いを致します。

昨年の秋に5回目のJ A Z Zストリートが開催され、岡崎クラブも参加しました。特にアナウンスと会場の雰囲気を盛り上げる気配りに好評を受けました。毎年岡崎クラブリーフレットを配布し岡崎クラブ



の認知、ご理解頂くよう努めております。従来は、岡崎J A Z Zストリート実行班と各サポーターが個々に連絡しておりましたが、岡崎クラブは広報が連絡係として、サポーターの応募連絡から16ヶ所あるイベント会場へのクラブ会員の振り分け、サポーターの仕事内容等説明、日程連絡等を行いました。

年々、ミュージシャンの参加も、お客様も岡崎市内のみでなく、遠方からも多数来ていただくようになり、増加傾向にあります。当日は会場界隈の商店街は大変活気に満ちております。又、今年4月3日(日)に、東日本大震災の岡崎J A Z Zストリートチャリティコンサートが催され、岡崎クラブ員も朝早くからお手伝いしましたが、ミュージシャン、コーヒーショップなど皆さんボランティアで心温まるコンサートとなりました。おかげさまで肌寒い日にもかかわらず、815,858円の義援金が集まり、「岡崎ってすごい！」と嬉しい一日となりました。

これからもITC 岡崎クラブは岡崎J A Z Zストリートと手を携え「地域社会と共に」歩み、会員増加につなげていきたいと考えております。



— 三世代スピーチフェスティバルを開催して —

カウンスル No.2 瓜生原 稔子

今期カウンスル No.2 会員委員会は、ITC をもっとアピールして若い世代の方に興味を持っていただくとうと三世代スピーチフェスティバルを企画しました。

兵庫県川西市にターゲットをおき、委員長の西本さんが、ITC 会則、広報誌、計画書等を携えて中学校、教育委員会、PTA を廻って協力を要請して下さいました。すると、中学校では、生徒にとってこんないい機会はないから喜んで参加すると言って下さいました。教育委員会では、何段階ものチェックを経て後援の許可が下り、PTA では現、元、前会長の方々が率先してスピーチを引き受けて下さいました。祖父母世代は、英語を杉谷和代さん（イースト神戸）に、日本語を廣瀬忠子さん（阪神）にお願いして、トントン拍子に三世代のスピーカーが決まったのです。

2時間の会を予定していましたので、アトラクションには北摂クラブの乙野靖子さんに英語落語をお願いし、快諾を得たところでチラシや案内状を作成して配信しました。するとうれしいことに、96名の会員と54名の一般の申し込みがありました。それで勇気を得た私たちは、よし、やろう！頑張ればきっと出来る！成功させなければ！と会長、委員長を中心に7回の委員会を重ね、三世代スピーチフェスティバルへと力を合わせ努力していったのです。

当日は、会員有志のお手伝いで、バケツに水をいれ紙袋を被せて花を活け、落語の台は、ビールのコンテナを重ねその上に毛氈を敷いて演台とし、会場いっばいに並べた150の椅子の上には、可愛い袋にケーキとお茶を入れたものをおいて、ITC 得意の手作りのもてなしで、満場のお客様をお迎えしたのです。

まず会の始めに、伊賀会長に ITC とはコミュニケーションを勉強する国際組織の会であることを分かりやすく説明していただき、その後、子世代の中学生に英語と日本語でスピーチしていただきました。彼らはとても上手で、スピーチとはどうあるべきかを反対に教えてくれました。続く親世代の PTA 代表、祖父母世代の ITC 会員代表も何れ劣らぬ素晴らしいスピーチで、会場はしばしスピーチに酔いました。スピーチの後は、武内リージョン会長の講評、会員による「スピーチの作り方・話し方」の教育をして、英語落語で盛り上がり、会場は笑いの渦となりました。こうして初めての試みである三世代スピーチフェスティバルは盛会の内に終わったのです。スピーチの順位をつけないためスピーチコンテストと呼ばずにスピーチフェスティバルと名づけましたが、進行は ITC のスピーチコンテストにならい整然と行いました。細かい点では反省も多々ありますが、ITC が前に出過ぎず、されど、しっかり宣伝出来たこと、地域の方に喜んでいただけたことでは、成功だったと思います。このような地域への還元の輪が続き、広がることを期待しています。



— あいめっせ・継続は力なり！ —

カウンスルNo.3しらさぎクラブ 広報・渉外委員長 釜田 睦子



只今、改修中のため雄姿を見られない国宝姫路城

ITC を広く地域で知って頂くための広報活動として、姫路市主催の女性フェスティバルにしらさぎクラブが参加し、早くも16年が経ちました。現在は姫路市男女共同参画推進センター愛称「あいめっせ」と命名されていますが、これは「I message」「愛あるメッセージ」の意味を込めて、男性も女性もジェンダーにとらわれずメッセージを発信する男女共同参画のキーワードです。

この「あいめっせ」に登録団体として年一回開催されるフェスティバルに参加し、引き続き活動をしています。2011年には、第23回男女共同参画全国会議が姫路市に於いて開催されます。其のプレとして昨年11月に「あいめっせフェスティバル2010未来会議」がクラブ例会場イーグレ姫路で開催されました。



登録団体87の内36団体が参加し、しらさぎクラブも実行委員として準備の段階から何回も会議に出席しました。他の3団体と合同で分科会の一つとしてワーク ライフ バランス（育児も介護もあなた次第）を課題に話し合い、その間でお互いをよく理解しあう事が、今迄以上に ITC を知って頂けたと確信しました。つまり本番までのプロセスが良かった！と思いました。

しらさぎクラブの役目は「司会はITCしらさぎから～」が当然のように今回も、オープニングセレモニーの司会、分科会のパネラー、タイマー、そして案内係として多くの会員が参加して活躍できました。まだまだ幾つかの課題が残されていますが、今年は本番！ITCしらさぎクラブ会員の日頃の成果の見せ所になれば・・・と願っています。正直例会とは別に又プログラムを組むという事は負担ですが、継続は力なり！と頑張っています。

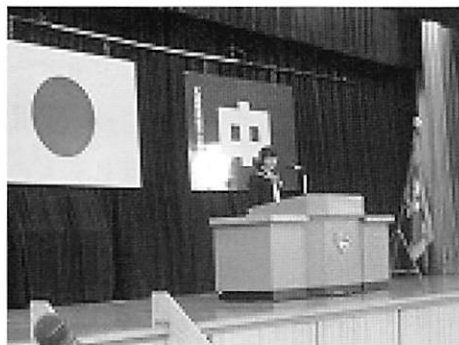
過去「あいめっせ」に一般の見学者が来られた時に出迎えた会員の態度の素晴らしさに魅せられて入会した・・・という会員が2名ほど現在も頑張っています。又これからもこんな素晴らしい出会いがあることを願ってやみません。



— 第7回 尾道市内小・中学生スピーチコンテスト —

主催・ITC 尾道クラブ 後援・尾道市教育委員会

実行委員長 山本 映子



中学生の部で第1位に輝いたスピーチ
「論題：希望」「題目：本は私の羅針盤」

カウンスル No.4 に所属する私たちの尾道クラブは、認証15年目、瀬戸内の小都市にて学ぶ、現会員数14名の小さなクラブです。

2004年リージョン会長のテーマは「社会への発信」でした。尾道クラブでは、尾道市が子ども達の健全育成の一翼に「地域との協働」を掲げたことに呼応し、社会貢献と ITC の PR を目的で開催したのが「第1回 尾道市内小・中学生スピーチコンテスト」です。その後も継続的に開催し、今期も12月に第7回スピーチコンテストを終了することができました。

今では、尾道市教育委員会学校教育指導課の小中学校年間行事の一つに組み込まれ、この事業がささやかながらも「教育という観点から重きを成してきていること」を確信致しております。喜ばしい反面、責務も重く心して備えていくことの重要さも加算されていますが ITC は、私たちを磨き育む組織体でありますから、その学びが社会を司る一等大切な教育の現場で生かされることは、一つの誉れであると信じ会員一同がんばっております。

様式は、ITC の「スピーチコンテスト・規則と任務」にほぼ沿い、子どもたち向けに少し変更、簡略化し、実施しております。毎回、14名の小・中学生の柔らかな感性を持ち合わせたスピーチの内容とその態度を見聞きするにつけ、日本の教育の確かさを認識する思いです。

私たちは、子どもたちであるが故にコンテストという競いの中で、「自らを磨き、成果が得られるように学んで頂きたい」そして、それは「大切なこと」という願いを抱いております。言葉という手段を使い、伝えることを精一杯発揮して、その中から新たな発見や感動、感慨を導き出し、今後に繋ぐ… 唯々、期待するばかりです。

それが故に、毎年の実施に努め、次々と子らの心に互いの努力の足跡を写し残したいと思っています。子供たちのこの経験が、社会に出た時の一助になればと夢膨らます尾道クラブです。今期は、泉和子 Fellow of ITC に参加頂くことがかない、嬉しく存じております。お誉めの言葉もいただき、会員一同、次へのファイトに繋ぐこととなりました。



第29期日本リージョン年次大会

基調演説・ITCのリーダーとは

第29期会長 武内 浩子

ITCにおけるリーダーについて考えてみました。今期テーマを“育む”としたことにも非常に関係があります。まず社会におけるリーダーとITCにおけるリーダーとの決定的な違いはなにかと考えてみました。社会、たとえば、会社、政治などで求められるリーダーは即リーダーでなくてはいけません。強いリーダーシップが求められます。人柄がよい、人気があると言うだけの理由で安易に選ばれるものではないと思います。このたびの東日本大震災ではこのようは人材を社会が求めていることがはっきりしました。トップにしか出来ない決断力が求められました。

さてITCでは目的の一つに「リーダーシップの養成」を掲げています。そしていつも私達が思うのは、リーダーシップをたとえ身につけても、その力を社会で発揮することはほとんどないということです。もちろんITCで学んだことを社会で役に立てている方もおられます。しかし、友だちにITCって何と聞かれた時にリーダーシップの勉強をしているとはなかなか言えません。なぜでしょうか。

皆様はリーダーと聞いてどんな人をイメージされますか。歴史上の人物を思い浮かべられますか。カリスマ性のある人？すごいリーダーを？リーダーシップなんて「ごくごく一般人である」自分には関係ないと思ってしまい、そんな勉強をしているなんておこがましくてとても人には言えない・・・ということになってしまいます。ところがリーダーシップは特別な人だけの問題ではない、誰もの問題だと考えてみたらどうでしょうか。例えば、子供の時に何人か集まるとその中の1人が「かくれんぼしよう」と言い出したお陰でその日はとても楽しかった、何人かが集まって「旅行しよう」と言った時に、必ずその中のひとりが中心になって動いてくれたお陰でとても実り多い旅行が出来た、これも充分「リーダーシップ」ではないでしょうか。私たちITCではこのようなささやかな形でリーダーシップの勉強をしています。

例えばリージョン大会を準備する段階でいくつもの委員会がつけられ、それぞれがリーダーである委員長と共に動いてくださっています。リージョン、カウンスル、クラブでは1年間役員として、委員長として活動を通じてリーダーの勉強をします。失敗するでしょうがこの失敗から学ぶことはとてもとても大きいのではないのでしょうか。経験に勝るものはありません。幸いITCでは1年間役職を務めればその後は一会員になります。強い力を持っていて、影響力のある人でも1年だけの活動が終わればそれで終わります。決して独裁者は出てきません。皆様もリーダーとしての機会が与えられればチャンスです。1年間学んでください。私自身、役員から、会員の皆様から教えられることの多い1年でした。皆様が私を育ててくださいました。

最後にリーダーシップに必要なものは何かを考えて見ました。魅力的な人間であること、これに尽きるのではないのでしょうか。ITCではいろいろなことを学ぶ機会が多いので教養が身につきます。また年齢差があるので考え方の違いを学びます。そしてリーダーとしていちばん大切なことは一緒に活動してくださる会員への感謝の気持を持つこと。人間ひとりでは何も出来ないのですから。

この1年の皆様の活動に心から感謝いたしますことをこの場をお借りして伝えさせていただきながら、基調演説を終わります。

Keynote Speech

by Hiroko Takeuchi

I have given a thought to leadership in ITC, with which the reason for my setting the theme as “Hagukumu” is closely concerned. Firstly, I have thought about the absolute difference between leaders in society and those in ITC. In society, such as in companies or in politics, for example, leaders have to be definitely leaders with strong leadership. They shall not be decided only because they have a good personality or high popularity. It has been made clear that leaders with strong leadership have been sought for to cope with the catastrophic disaster caused by the recent Great Higashinohon Earthquake. Strong resolutions which could be made only by top leaders have been needed.

In the meantime, in ITC one of the objectives is “to nurture leadership”. We always think, however, that even if we learn leadership, we rarely practice it in society. Of course, there are some members who do make good use of what they have learnt in ITC. However, when asked by friends, “What is ITC?” it is almost hard to answer that it is an organization where we learn leadership. Why?

What type of a person do you imagine as a leader? Do you imagine a historical figure? or one with charisma? or an awesome leader? We might consider leadership as irrelevant to us, “very ordinary people”, and might take it impudent to say we are learning leadership. However, how about considering that leadership is not an issue for a particular person? Suppose, for instance, that, in your childhood, when you got together with several children among whom one suggested playing hide and seek, you felt happy for the rest of the day thanks to him. Or when a plan for taking a trip is suggested among a group of friends, there always be someone who spares no effort in preparing everything to make the plan work out well. Don't you think these are examples of people who exercise leadership? In ITC we are trained in acquiring leadership in such a natural manner.

Take the preparations for the conference for instance. Many committees are formed, in which members take part in activities together with the chairpersons- the leaders. In Region, Councils and Clubs, you learn how to be leaders through the activities as board members or committee chairpersons. It is natural that you should make mistakes while you take opportunities to learn to be leaders. But you don't have to be afraid of making mistakes, because you learn from mistakes. There is nothing more precious than experience. Fortunately, in ITC after you have held an office for one year, you will become a mere member. Even a powerful member with a great influence over other members shall resign the position after fulfilling the duty for one year. No dictator shall exist. If you are given a chance to become a leader, do make a good use of the chance. Learn for one year. As for myself, I have learnt a lot from the board members and from you members during my term for a year. YOU have nurtured me.

Lastly I have thought about what is an essential quality for leadership. In my opinion, to be an attractive person may be the ultimate quality. Thanks to ITC where there are many opportunities to learn many things, we get a lot of knowledge. At the same time variety of ages gives us different perspectives. Besides, it is very important as a leader to be grateful to all the members for their involvement. We won't be able to achieve anything all by ourselves.

I would like to conclude my keynote speech by thanking each of you for your commitment to activities for the past year. Thank you.

次期会長 葛谷 美紀子

第29回日本リージョン年次大会前日には下記の4つの研修会が順に行われました。

1. Training Power Pack: "EXPANSION"

1年に一度のリージョン大会において、公式訪問者をリーダーとして世界中の全会員に向けて行われる国際役員会からの全体研修が Training Power Pack です。通訳なしで行われた今回、大会前日であったためか、英語クラブ会員や英語を理解する会員の参加が少なかったのが残念でした。



2. カウンスル運営研修会: Power Lunch

現役員、委員長をリーダーとして、昼食を頂きながら、10部門の研修が和やかに活発に行われました。終了前20分間は、各部門で話し合ったことを参加者皆で共有しました。カウンスル役員や委員長が一堂に集まる折角のチャンスなので、次回はもう少し時間を長く取ると良いと感じました。

3. ワークショップ: "Fun with Kanji"

リーダーは柴田ひさ会員(サンデークラブ)で、Fellow of ITC 申請のために行われました。「漢字」を題材にしたオリジナルワークショップが英語でなされ、リーダーが会場を走り回る中、愉快的Q&Aも出て、あっという間の90分間でした。



4. Training Power Pack: 「拡張」

国際役員の代理で Training Power Pack のリーダーを務めることができる資格を持った Fellow of ITC の泉和子会員(阪神クラブ)によって、「EXPANSION」の日本語版が行われました。巧みなリーダーの進行で、カウンスル毎に座ったテーブルから、独創的なクラブ増設プランが次々発表されました。プランが実現すると嬉しいですね。

おめでとうございます! 柴田会員が Fellow of ITC 合格・泉会員が Fellow of ITC 再合格

英語クラブの集い

小菅あけみ S.C. Fellow of ITC

リージョン大会の前日、30分ほどの短い時間でしたが、サザーランド国際会長を囲んで、英語クラブの集いをもつことができました。21人のメンバーがマーガレットの日本リージョンに対する抱負を聞きました。

昨年秋 International Training Weekend が今回と同じホテルで開催され、日本と国際との距離はさぶぶん縮まったように見えますが、もっと日本の声を世界に届かせるために、日本の会員が国際役員への道を踏み出してほしいとの気持ちがこめられていました。

英語を母国語としない会員は、日本のほかにもアイスランド、ギリシャ、メキシコなどありますが、ITC の素晴らしい教材やアイディアをお互いに学び合うためにも、英語を話せる会員は活躍の場が与えられています。国際への視野を入れた毎月のトレーニングが期待されています。

30期テーマ 「力を信じて」 “Believe in Yourself”

【次期役員】

会 長	葛 谷 美紀子 (No.1 名 城)
次 期 会 長	小 菅 あけみ (No.8 サンデー)
第一副会長	西 阪 宜 枝 (No.6 京 都)
第二副会長	稲 葉 由利子 (No.1 名 城)
書 記	若 林 裕 子 (No.2 甲 南)
会 計	伊 藤 容 子 (No.1 東 山)



【指名委員会】

委 員 長	今 井 京 子 (No.2 イースト神戸)
委 員	加 藤 玲 子 (No.1 名古屋)
委 員	佐 藤 睦 子 (No.4 岡 山)

ITC キャッチフレーズ PREM 賞決まる！

PREM委員長 小八木 利子

PREM 委員会では、新規に ITC のチラシ (A 4) とリーフレット (A 4・両面印刷) を作成して第 3 回リージョンメールに掲載しました。それに伴い、ITC のキャッチフレーズを会員の皆様に募集したところ、16クラブから116もの作品を寄せて下さいました。役員会、第二副会長、PREM 委員会で投票・審査の結果、次の作品が選ばれました。

- ・PREM賞 「のぞいてみよう ITC！！ 何かが見つかる ITC！！」
No.3 ポート神戸クラブ 浜田 有里会員
- ・準PREM賞 「広がる友情 深まる知識 未来へつなげる ITC」
No.5 眉山クラブ一同
- 「ITC あなたが変わる、あなたを変える きっかけに」
No.3 姫路クラブ 後藤 英子会員

どうぞクラブやカウンスルのリーフレットなどに使って広報にお役立てください。

リージョン会則・常規 修正案報告

会則・決議委員長 柚本 加代子

2011年6月1日、2日 神戸ポートピアホテルで行われた第29回日本リージョン年次大会に提出された会則修正案4件と常規修正案2件の審議結果は下記の通りです。太字の部分が修正された箇所です。

修正案1 「原案通り可決された」 修正方法：12. 翻 訳を付加

会則 9.1. 常任委員会： リージョンの常任委員会は次のとおりとする。

1. 資格認証
2. 会計監査
3. 予算・財務
4. 会則・決議
5. 大会準備
6. 選 挙
7. 国際交流
8. 指 名
9. PREM（広報、新会員獲得、増設、会員）
10. プログラム・教育
11. スピーチコンテスト
12. 翻 訳

修正案2 「原案通り可決された」 修正方法：9.2.12. の項目を付加

会則 9.2.12. 翻 訳： 翻訳委員会はITC会則・常規修正案、ITC教育資料、国際との通信等の翻訳をする。

修正案3 「原案通り可決された」 修正方法：削除

常規 8.2.4. 翻訳部 削除

修正案4 「原案通り可決された」 修正方法：削除して挿入

会則 9.2.3. 予算・財務： 予算・財務委員会はリージョン及び事務局の予算案を作成し、8月31日までに役員会に提出し承認を得、会報第1号に掲載する。

修正案5 「原案通り可決された」 修正方法：削除

会則 9.2.7.a. 削除

修正案6 「原案通り可決された」 修正方法：置き換え

常規 8.1. 事務局は芦屋市船戸町6-19 ハウゼ芦屋105号室に置く。ただし、緊急に移転の必要が生じた場合は役員会に一任する。

以 上

第29期 ITC 日本リージョン役員会年次報告書

2010年8月1日～2011年7月31日

第29期日本リージョン役員会は、日本リージョン声明文、会則・常規及び役員会方針に基づき、日本リージョンテーマ「育む」のもと、以下の活動を行った。

1. クラブ数・会員数の状況

日本リージョンは今期8カウンスル、82クラブ、会員1,336名、重複会員44名、重々複会員1名で始まった。

6月1日現在 クラブ数82、会員1,408名、重複会員43名、重々複会員1名である。

2. 研修会報告

- ① カウンスル運営研修会（CMT）は2011年5月31日 神戸ポートピアホテルに於いて、10部門で行った。
- ② Training Power Pack（TPP）の英語部門は5月31日、公式訪問者 Margaret Sutherland ITC 会長により行われた。
- ③ 年次大会の評価は6月2日年次大会終了後、公式訪問者 Margaret Sutherland ITC 会長により、29期、30期日本リージョン役員と大会準備委員長を対象に行われる。
- ④ 評価後、Margaret Sutherland ITC 会長により、日本リージョン新役員を対象に Region Management Training（RMT）が行われる。

3. 主たる活動

- ① 役員会は定足数を以て議会法規役員出席のもと現在までに9回と臨時役員会1回を開催した。また必要に応じてEメールでの通信役員会を行った。
- ② 役員は8カウンスルの第一回会合に公式訪問を行い、リージョンの方針を伝えた。
- ③ リージョン会報は3回発行を予定しており、現在までに第1号、第2号を発行し、全会員に配布した。第3号は7月に配布予定である。
- ④ 今期、日本リージョンメールは項目を送信し、内容は原則として Web Site に掲載した。FtB、Coarch for Success 等国际からの配信項目はそのメッセージをいち早く全会員に知らせる為、英文のまま掲載し、必要な項目、及び要望のある項目に関しては翻訳文の掲載を行った。
- ⑤ 会長は国際役員会にリージョン会長報告書を現在2回提出している。
- ⑥ 役員会は年次大会に会則・常規の修正案を提出した。

第29期日本リージョン年次大会は2011年6月1日、2日の2日間、大会テーマ「舳いをたしかめて」のもと、神戸ポートピアホテルに於いて開催中である。

第29期日本リージョン書記：中島由美子

2011年6月1日採択

ご準備 お世話様でした



☆武内会長

各役職、委員会に温かなねぎらいの言葉を添えて感謝の言葉を述べられました。



☆会長行進

被災した盛岡クラブ会長の参加に大きな歓迎の拍手



☆派遣員 しっかり審議に参加

☆食事委員会

何よりもおいしいものを楽しく食べて元気な活力を得ました。“美味しかった！”



☆デコレーション委員会

晩餐会のテーブル飾りは100円ショップで買った透明ファイルにブルーのリボンをはりつけ大会テーマ・筋いを表し、中に明かりを入れて盛岡クラブなど被害を受けた東日本大震災への祈りの灯火にしたとのこと、お見事なアイデアです。

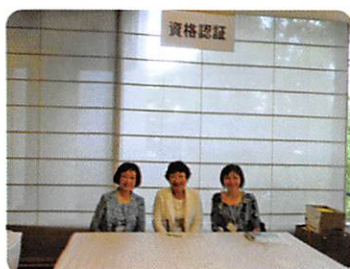
☆インフォメーション

キットやめがね、コートなどお忘れ物がありました。でも無事持ち主に戻り良かった～！



☆ホスピタリティー

色とりどりのお菓子を前に感激！緊張の会議の合間に身も心もほっと一息



☆資格認証

大会出席はどのレベルにも必要な課程です。今回もしっかりサインをして頂きました。



☆資料

物品の数々、実際に手にとって見てみんな欲しくなりました。

☆大会会計、登録、宿泊、会場備品、儀典、VIP委員会 の皆さまも ありがとうございます

☆受付委員会

登録受付から晩餐会の一般ゲストまで、大会資料から素早く名前を見つけてにっこり、嬉しいお出迎いです。



静 粛



☆ページ委員会

開会式の会長行進準備のため、全国の会長への連絡作業があり組織の大きさを実感したそうです。ビジネス時の審議の票数を確実に数えるための方法も工夫されました。



☆広報委員会

来賓への出席依頼や大会パンフレットへのご寄稿、及びご出席依頼、リージョン大会のPR活動をし、当日はPREMの展示、昼食時には各クラブの様子が映像に流されました。

☆晩餐会

井戸兵庫県知事から大会への祝辞をいただきました。ノルウェーサーモンのオードブル、時間をかけて作られたキャロットスープ、舌平目、特選牛フィレなど豪華なコースを楽しみました。

日本リージョン年次大会に寄せて：兵庫県知事 井戸 敏三

「愛ありて ティームを作る営みは シーンとアクトの積み重ねから」
(I) (T) (C)



☆役員就任式

インストーリングオフィサー マーガレット・サザランドのもとで、新会長へのギャベル受け渡しながやかな雰囲気の中で行われました。凛とした葛谷新会長の就任ごあいさつに、次期への期待が大きくふくらみました。

- ・会長テーマ：「力を信じて」“Believe in Yourself”
- ・大会テーマ：「手をつなごう」“Hand in Hand”

2012年6月24日～26日



☆エンターテイメント

ジャズバイオリニスト maikoさんとピアニスト井上ゆかりさんを迎えてのコンサートでした。maikoさんのオリジナル曲から情熱的なピアソラのLiber Tangoまで、エネルギーでしなやかな極上の音色に酔いました。



☆キット委員会

キットはシンプルで分かりやすいカードで好評でした。何度も何度も間違いがないか確かめるのは大変な作業だったと思います。

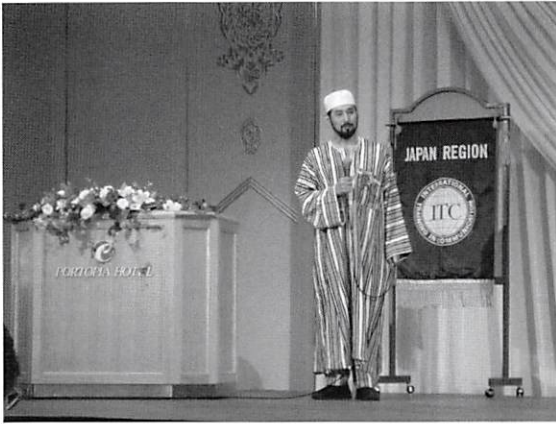
—— みなさま、お疲れ様でした～ ——

特別講演

「やった！自転車世界一周 4年3ヶ月の夢」

～生かされてきたことへの感謝を込めて～ 坂本 達氏

担当：山口 公子（尼崎）



プログラムリーダーの紹介の後、ギニアの民族衣装をまとって登場され、会場は「あっ！」という驚きの声が上がりました。ステキにひげをはやした風貌とあいまって外国人と間違われたのでしょうか。エレベーターでは「サンキュー」と言われたというエピソードに笑いが起こりました。

ギニアでの最後の注射の話や、村人たちからのにわたりのプレゼントの話には、胸がジーンと熱くなりました。小学校の頃いじめにあった時、お父様は世界地図を広げ、

世界はこんなに広く、そこにはいろいろな考えを持った人がいる事を話され、その一言が「世界一周の旅」という大きな夢を持つきっかけとなったのです。温かいお人柄は、愛情一杯の家庭で生まれたのでしょうか。感謝の気持ちを形にする恩返しプロジェクトでは、命拾いしたギニアで薬より欲しい物は、きれいな水だと知り井戸掘りをするのですが、ギニアの人々と汗をかきながら完成させるという、新しい国際交流のあり方も考えさせられました。心を打つ数々の話の中にも、笑いをところどころにちりばめ、聴衆の心を離さない講演でした。

ところで、講演には文明の利器が欠かせません。しかし、パソコンとプロジェクターの相性もあるし、ストライキを起こされたらどうしようと心配のし通しでしたが、無事終了し拍手を耳にしたときはホッと、胸が熱くなりました。

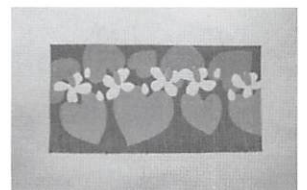
私たちが夢を持ち続けたいものです。そして、将来を担う子ども達が大きな夢を持てるような環境を整えるのが、私たちがのだとつくづく感じました。コミュニケーションの大切さをはじめとし多くのメッセージを頂くことができ、感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

教育セッション 特集

「教育セッションA」版画を楽しみませんか？ 本荘 正彦氏

担当：石黒 慶子（瀬戸内）

私の版画に対するイメージは、小学生の頃、彫刻刀でゴム版か木版に彫った記憶。委員長と一緒に、講師にお願いに伺った時も、木版画は「彫ることから…」と思っていた私は、70分間で「書く・彫る・摺る」の実技をどのように進めていくのか、何人体験ができるのかなど、とても疑問でした。話を伺う中で、講師の版木をお借りして「摺ることのみ」を体験するというので、プログラム委員会では出来るだけ多くの人に体験して頂きたいという考えの下、時間内で25名を予定しました。



受講者の作品



だけの人の中には部屋を出ていかれる人も・・・。体験する人の人数を減らして、最後に版画の講義をもう一度して頂くよう計画したら良かったのかな？と反省。実技を取り入れた初の試みが、いつか役立てばと願います。

ところが、ITCでは、実技だけでなく講演もして頂いての70分。時間内に何人摺ることが出来るか？何色刷りにするのか？など、講師と何度もメールの交換をしながら、ご無理なお願いばかりをしてきました。

当日は、受付でくじを引き25人の幸運な体験が出来る人が選ばれました。講義が始まり、版画には凸・凹・孔版・平板の種類があり、デジタルプリントも現在では第5番目の版画といわれている…など、版画の奥深さを知ることが出来ました。実技に入り、35名の見

「教育セッションB」アイルランドの音色にひかれて 守安 功・雅子 夫婦

担当：中込 寿美（北撰）

知人のコンサートで求めた一枚のCD「祈り」。癒しの曲の数々に惹きこまれる。奏でられるアイリッシュハープとアイリッシュフルートの音色にすっかりとりこに。アイルランドと日本でご活躍の守安先生ご夫妻の演奏です。委員会で教育セッションについて考えている頃、ふとひらめき、提案してみると「是非お願いしてみても・・・」と。早速、東京にお住まいの先生にお尋ねしたところご快諾くださる。神戸でコンサートがあることを知り、委員会数人で。その時はアイルランドの笛の名手（ちょっとぼっちゃりのおじさま）、次の機会には、アイルランドのハープ奏者（若く美しい女性・お腹には赤ちゃんが）との共演でした。軽快な曲、ジーンと心に染み入る曲、奏でられる様々な音色と通訳される軽妙な語りに魅了されました。日本から遠く離れた国アイルランドについて、人々、また、楽器との出逢いなどなど、お聞きしたいことが膨らんでいきます。限られた時間の中で、目いっぱいアイルランドを感じ、学んでいただけたらと迎えたリージョン大会。



ご夫妻は午前中にご到着、セッション会場を確かめ、昼食、6名の英語スピーチもお聴きになり、大会の雰囲気をつままれたうえでの開会。200余名の聴衆の意向を汲みながら進められたお話はユーモアたっぷり、学校では聞けない、本にも出てこないものばかり。演奏も交えての楽しい時間はあっという間に過ぎ、もう一曲・・・の思いを残しての閉会でした。

「教育セッションC」「先端医療の功罪」 松田真理子氏

担当：旭 榮（阪神）



先ず、教育セッションCの担当を終えまして、当セッションCを選び、聴講して下さいました皆様に感謝したいと思います。リージョンの教育としまして、内容が少し硬いかなと危惧しておりましたが、沢山の方々が熱心にお聞き下さり、又日頃の疑問を率直に質問して下さいまして、皆様の関心の深さを垣間見ることが出来ました。医療の進歩には、目を見張る現実がありますが、鵜呑みにするのではなく、科学万能の分野が、倫理的に人類の幸せに貢献できているのか、或いは、戦争・経済の道具として使われているかどうかを生活者としての叡知で見届ける必要があるということに共鳴して下さいましたからと理解しております。

昨年の夏より、講師の先生、プログラム教育・委員長との話し合い、メールでの連絡に、気持ちよくお答えいただき、大会当日の開催を迎えることが出来ましたが、内容的に、どうしてもスクリーンにビデオで映写する必要があり、先生初め委員長・役員の皆様にご迷惑をおかけしました。パソコンとプロジェクターの不具合に、一喜一憂し、ノートパソコンが嫌いなのでという言い訳は通用しないと痛感しました。今後教育セッション担当者は、当事者として、機器の使用も大切ですので、扱いに慣れておく必要があると思います。教育セッションCにご協力いただきました皆様に紙上で感謝いたします。

教育セッション担当者は、他の素晴らしい教育には出席不可能なのが、とても残念でした。委員全員でリージョンプログラム誌の細部にまで目を凝らし、プログラム完成までの苦労も味わい、過去の皆様方のご苦労もよく理解できました。忌憚のない意見のやり取り、意見の交換が出来ました。委員会活動を懐かしく思い出しております。



「教育セッションD」—京町家の危機— 生川慶一郎氏 ～これから何をすべきか考える～

担当委員：板東 登子（豊中）



京町家・松村邸

大好きな京都・・・でも訪れるたびに、古の京の都の趣が失われていくことに一抹の寂しさを感じておりました。友人の息子さんである生川氏が京町家の保存の仕事に係っておられることを知った時、建築士の立場から見る建物だけではなく伝統・文化にまで及ぶ情熱に「この若さで・・・」と感動を覚えました。

講師の生川氏の話の中に度々出てこられる松村様は生川氏が師と仰ぐ方です。実際に町家に住みながら、古い伝統を只守るだけではなく、現在の暮らしの中にその良さを生かし、よりよいものとして次の世代に伝えていく生活を実践しておられる、数少ない京都旦那衆の一人です。講演の前に委員一同で松村邸にお伺いいたしました。町家の話をお聞き



し、引き継いでこられた素晴らしい品々を目にした時、その思いの深さとご努力に感動、頭が下がりました。

いよいよリージョン大会での講演が始まると、よく響く声の生川氏の熱のこもったお話に引き込まれました。時には聴衆に問いかけながら楽しく盛り上がった講演は、最後に京町家の保存に奔走する女性達の実情を報告、協力を呼び掛け、終了しました。

「教育セッションE」スピーチの作成 岩佐 圭子会員

担当：岡島 詠子（錦）

ITC 会員にとってスピーチは必須アイテムです。自分の言いたい事をいかに簡潔にしかも直接的に相手の心に響くように話すかがポイントです。教育セッションEの「スピーチの作成」ワークショップリーダーは、長年 ITC のあらゆる場面で活躍されている東京クラブ岩佐圭子会員。スピーチの素晴らしさには定評のある方です。



セッションでは「スピーチ作成の基本形・4セクション」を学びました。どんなに長いスピーチも3分間のスピーチも、作成においては基本的には同じ事。イントロダクション・テーマ・本文・結論、この4セクションの時間配分を変えるだけで自由に作成できる事。また、タイトル（題目）は自分の言いたい事が「一瞬にしてわかってもらえるもの」になっている事が大切である、と教えて頂きました。

参加者にはあらかじめ「水」「写真」という2つの論題を通知してどちらかを選びスピーチコンテストのように題目をつけ3分のスピーチ作成が宿題。岩佐WLのスピーチ作成に関する詳しいレクチャーを受けた後、スピーチを発表。その後テーブルディスカッションをしてスピーチの評価。リーダーの参加者全体を見渡したゆとりある誘導で活発な意見が飛び交うセッションになりました。スピーチコンテスト形式を行う事をあらかじめ通知しておきましたので、スピーチ作成は必須事項。ひょっとして参加者の方々が負担に思われるのでは？という懸念は無用でした。多数の方がスピーチを準備され積極的に発表に手をあげて頂く事ができました。時間の関係上4名の方しか発表して頂けなかった事が申し訳なかったです。



岩佐WLによるすべてのセッションの企画、関PLのスマートな進行、林、渡邊会員の受付兼タイマーの強力なサポート、そして積極的な気持ちを持って参加して下さった会員皆様の協力によりこのセッションが意義あるものになりました。ぜひ、カウンスル・クラブに持ち帰って更なるスピーチのスキルアップを目指して下さい。これで私もスピーチの達人！

スピーチコンテスト

29期リージョンスピーチコンテスト委員長 但野真理子

ITCのハイライトとも言われるスピーチコンテストを滞りなく終了することができましたのは、会員皆様の協力あってのことと心から感謝しております。今期の委員会方針の中心は「コンテスタントが主役」でした。与えられた条件の下、できるだけ自然体でスピーチができるようにお手伝いしました。また、東日本大震災後、不安定な状況にも関わらず、No.8は日・英のコンテストを開催しリージョンへは2名のコンテスタント出場が実現しました。その熱意に敬服すると共に熱意の源は何であったのかを考えさせられました。多くの人が苦手意識を持つスピーチコンテストですが今回もまた多数の聴衆が集まり上質のスピーチが披露され満足できたのではないのでしょうか。そんな中で私たちは今大会を経験することにより、平時は頭をよぎることさえしない“普通であること”の大切さを改めて実感できたように思います。

日本語の部

プログラムリーダー 竹内 ひとみ（鳥取）

	氏名(クラブ)	カテゴリー	論題	題目
1位	山口 久美子 (No.8 韮崎)	鼓舞する	愛	勇気を出して
2位	石田 恵子 (No.6 平安)	鼓舞する	癒し	ダイヤモンドへの道
3位	三宅 裕子 (No.2 六甲)	情報を伝える	つながり	発達障害を持つ 子ども達から学ぶ

審査員コメント（要約）

・曾根 英二氏

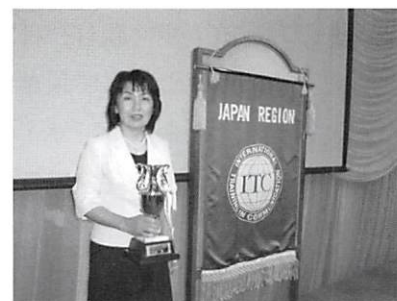
ラジオ、テレビの制作現場に立ち、目の前にいない人たちを対象にスピーチをしてきたが、言葉を伝えるために大切なことは、自分の訓練されているしゃべりをどう崩すかということでした。人にもものを伝えるのは当然言葉が一番中心になるが、どんな形で、どんな表現で、思っていることを伝えるのが一番いいか、またそこにどれだけリアリティーがあるか、社会性があるかが一つのポイントになります。難しい言葉でなくても、心から語っているかどうかということも大切なことです。

・白井 文氏

よりすぐりのスピーカーですので甲乙つけがたい審査でしたが、実体験を自分の言葉で生き生き語っていたことに引きつけられました。スピーチのそれぞれの背景や思いを探りながら聞かせていただき、評価の対象にいたしました。また、スピーチの構成ですが、内容にあれもこれもと詰め過ぎているスピーチが気になりました。スピーチの内容は足し算ではなく、引き算が大切です。引き算をしながら、伝えたいことを中心に深めていくことでより素晴らしいスピーチになると感じました。

・石本 美知子会員

ITCのスピーチ訓練の成果として、マイクの使い方、声の使い方、間の取り方などを審査の対象といたしました。特に間の取り方は大切でスピーチが生きてくると感じました。また、自分独自のキャラクターでその世界に聴衆が引きこまれていくことに感動しました。何を伝えたいか、最初から最後までその熱意を貫いたかという点に審査の焦点をあてました。個人的には明るい楽しいスピーチが好みですのでそのようなスピーチを選びました。



英語の部

プログラムリーダー 西村 みつ子 (名古屋)

	氏名(クラブ)	カテゴリー	論題	題目
1位	十河尚子 (No.5 梅田)	Persuade	Curiosity	NEWS
2位	宮崎ひろ子 (No.8 柏)	Inform	Encountering	The Symbol of the Forest
3位	武津冷子 (No.1 千種)	Inspire	Present Time	My 13 Bags

* ITC 大会出場者 河合 康子 (イースト神戸クラブ) 第28期優勝者
 十河 尚子 (梅田クラブ) 第29期優勝者

* コスモポリタンスピーチコンテスト出場者 宮崎ひろ子 (柏クラブ)

審査員コメント (要約)

・笹本晃子氏

6名の出場者は、これまでの研鑽の成果を十分に発揮しておられました。緊張の中ジェスチャーも自然でした。マイクの使い方など広いステージを存分に使うおられて舞台上での話し方に慣れてこられたと感心いたしました。審査に当たって一番注意していたことは、メッセージをいかにしっかり伝えるか、そのためのスピーチの構成の仕方、それが自然な形で上手に流れているか、そして聞いている方にとって聞きやすかったかということです。ユーモアのセンスもあり聴衆の関心をつかんでメッセージを的確に発表したことが今回の結果として表れたと思います。これからも研鑽をかさね素晴らしいスピーカーになっていただくことを楽しみにしております。



・武田寿子氏

すべてのスピーチを楽しませていただきました。どのスピーチも主題に沿っていてユーモアも交えて最後まで聴衆の興味をひきつけたスピーチだったので僅差だったと思っています。一つだけ注意した点はスピーチを終えたときどんなメッセージを投げかけて、聞いた方がこのような主張だった、このようなスピーチを聞いたなというエンディングに注意して聞かせていただきました。沢山勉強させていただき感謝しております。

・Ms. マーガレット サザランド

スピーチの所要時間について考えたいと思います。スピーチを練習するに当たって7分から8分に収まるようにするには大変な努力が必要です。英語のスピーチは7分以上のスピーチをするのはとても難しいです。今回のスピーカーは制限時間内におさめていました。そして心を込めてしっかりと準備をしたことがわかります。すべてのスピーチはユーモアをまじえてうまく構成されていました。話し手は時折目の前の聴衆のことを忘れがちですが聞き手からのメッセージも受け取っているのです。

リージョン大会でのすべての出場者の健闘を称えたいと思います。

表彰者リスト

(名簿順)

継続会員

45年継続会員 (1名)

カウンスルNo.1 名古屋クラブ 鶴飼恵津子

40年継続会員 (1名)

カウンスルNo.1 名古屋クラブ 豊島 知子

30年継続会員 (10名)

カウンスルNo.2 神戸クラブ 立花 眞琴

カウンスルNo.5 大阪クラブ 石田 寿子

カウンスルNo.7 鳥取クラブ 今村 允子 加藤久美子 真嶋 淑子

正木美恵子 西尾琉璃子 太田千世子

田中 英子

カウンスルNo.8 東京クラブ 櫻井 慶子

20年継続会員 (34名)

カウンスルNo.1 錦クラブ 森本 保子

飛騨高山クラブ 向井 節子

千種クラブ 岩田 みつ 清水 京子 和爾 玲子

カウンスルNo.2 イースト神戸クラブ 戸塚 幸

甲南クラブ 伯井 睦子 井上 明子

御影クラブ 高島 季子

カウンスルNo.3 姫路クラブ 小林 紫生

しらさぎクラブ 中村 光子 玉田知雅子

カウンスルNo.5 大阪クラブ 則武 紀子

豊中クラブ 小田 和子

梅田クラブ 十河 尚子

堺東クラブ 遠藤美与子 長谷川充子 稲次 美子

梶川 紀心 西村 敦子 坂本 英子

椎名 真子 島野美恵子 田中 征子

カウンスルNo.6 平安クラブ 西村 温子

北摂クラブ 中込 寿美

サタデークラブ 中西代志重 桜井 寿美

琵琶湖クラブ 岩井 悦子 目片ミヨ子 大南 純子

カウンスルNo.7 鳥取クラブ 濱崎 恭子

倉吉クラブ 黒田多美子

カウンスルNo.8 柏クラブ 宮崎ひろ子

新入会員最多クラブ

カウンスルNo.2 阪神クラブ (4名) カウンスルNo.7 倉吉クラブ (4名)

会員最多クラブ

カウンスルNo.7 倉吉クラブ (35名)

キャッチフレーズPREM賞

カウンスルNo.3 ポート神戸クラブ 浜田 有里

東日本大震災 ～被災地に思いを寄せて～

リージョン会長 武内 浩子

このたびの東日本大震災でお亡くなりになられた大勢の皆様に謹んで哀悼の意を表します。ITC 日本リージョンでは会員の皆様に義援金をお願いしましたところ、71クラブの皆様から頂いた義援金とリージョン大会で集まったお金とあわせて合計3,113,830円もの金額が集まりました。誠に有難うございました。このうち500,000円を盛岡クラブに送金、あとのお金は次のところに寄付いたしました。

「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金」発起人 建築家 安藤忠雄他数名

今後、遺児たちが成長するまで、日本リージョンから、継続して寄付が出来ればと思いますが、いかがでしょうか。

— お 礼 —

盛岡クラブ会長 森 恵美子

義援金有難う御座いました。三陸沿岸で生まれ育った者は、この度の津波で多くの親族を失い、家も、何もかも失い、そんな中で、明治以来の隣組制度が未だに活用されている地域は隣の方も全て親族と同じお付き合いをしております。

私も多くの親族を失い、気がついたら森姓を名乗る一族は3名になってしまいました。亡くなった者は如何しようも有りませんので、今、命のある者がお互い助け合い生きなければいけないと思い、隣組の方々150名のお世話をさせて頂きました。大切な義援金は多くの被災者の為に大事に使わせて頂きます。盛岡クラブ役員会の席上で義援金の使途を決めたいと考えています。

本当に有難う御座いました。

心に響く こ・と・ば

— 被災者の皆様に —

あぁ なんという ことでしょう
テレビを見ながら 唯(ただ) 手をあわすばかりです
皆様の心の中は
今も余震がきて 傷痕(きずあと) がさらに 深くなっていると思います
その傷痕に 薬を塗ってあげたい 人間誰しもの気持ちです
私もできることは ないだろうか? 考えます
もうすぐ百歳になる 私 天国に行く日も 近いでしょう
その時は 日射(ひざ) しとなり そよ風になって 皆様を応援します
これから 辛い日々が 続くでしょうが
朝はかならず やってきます くじけないで!

2011年3月17日産経新聞 柴田トヨ

◎ 表紙の丸・私はこう思った ◎

2号で「表紙の丸から何を連想されますか？」とお尋ねしたところ、大勢の方から、楽しいお便りをいただきました。ここにご紹介させていただきます。ありがとうございました。編集一同

- ① 大きさの異なる丸は、会員数の豊富なクラブ（25～30名）もあれば、中規模のクラブもあり（15～25名）、少人数で頑張っているところもある、とイメージしました。
（*これは編集者の意図と全く同じだったので、びっくりしました）
- ② それぞれの丸が三重になっているのは、外側から内側に向かって眺めれば、クラブ内で会員がまとまって団結していく様に映り、逆に内側から外側に目を転じていくと、そのクラブが（外の世界に働きかけるなどして）発展していく様子に見えます。
（*ITCが目指している理想の姿でしょうか・・・）
- ③ 3つの丸から線が出ていますが、これは（その角度からみて）元を辿れば1か所に集まりますので、クラブがたくさんあるけれど、みんな同じ所から出発していて、大切にしているものは一緒なんだよと暗示しているようです。
（*よくそこまでイメージして下さいましたー感謝！）
- ④ I号とII号を並べてみましたが、丸を移動されて面白いです。回毎に表紙が変わるなんて初めてですから楽しい発想ですね。まるでビリヤードの玉があちこちに動いているイメージですがII号では何故か眼と口をイメージしました。左目と口を大きくあけて何かを一生懸命話している（歌っている？）ITCのメンバーなのかな？
（*会員は皆おしゃべり大好きですものね）
- ⑤ 表紙の丸は目玉を想像しました。横にしても縦にしても目玉に見えました。
（*何を見ているのでしょうか？）
- ⑥ アドバルーンを連想しました。大空に舞うアドバルーンは、これからのITCを象徴している？
（*いいですね～！ 希望は大きく持ちましょう）
- ⑦ 手毬が跳ねているようです。ITCの各クラブの個性でしょうか。
（*それぞれの個性を活かして、がんばりましょう！）
- ⑧ 規律の中の自由な躍動！を感じました。
（*自由な躍動一何か心がわくわくしてきました）
- ⑨ 自由に転がってゆく大小の丸、どう育ってゆくのか楽しみです。
（*あちらこちらで知識を吸収し成長するのですね）
- ⑩ 「ITC 歌舞伎、一つにらんでご覧にいらします」個性あふれる役者たちのにらみの目玉です。
（*見栄を切っているように見えてきました）
- ⑪ 孔雀が羽根を広げているように感じました。
（*いずれアヤマメかカキツバタ）



1号表紙



2号表紙



3号表紙

編集後記

☆ 今期編集の思いは、ITCのこれからを考える記事を載せたいということでした。「井の中の蛙」になることを避け、外部の方に現状を客観的に分析していただき、連載記事に致しました。この企画がITCのこれからを考える上でお役に立つなら、うれしいことです。優秀なスタッフに恵まれ、固定観念にとらわれず、自由に、楽しく、有意義な一年を過ごさせて頂いたことに感謝しております。

編集者 松本 敬

★ 編集メンバーに加えて頂いて、発行までの行程のいかに大変であるかを体験させていただきました。最後まで不安がつきまといましたが、この一年は「学習する組織」での成長に大きく繋がったことは間違いないと思っています。皆様に感謝いたします。

スタッフ 大谷 差智子

☆ 皆様からの原稿を前に、目を凝らし心を尽くして丁寧な編集をこころがけました。どの方の原稿からも「ITCが大好き」という思いがあふれていました。編集チームは“本好き・活字好き”の同じにおい(!)が漂い、素晴らしい仲間と出会えたことをうれしく思っています。

スタッフ 鶴山 紀子

★ 活字大好き、編集は天与の仕事と勇んだ意気はあえなく消沈。校正恐るべし、かすむ目を皿のように見開き、編集の皆さまのお助けでやっと担当ページをクリアできた1年でした。貴重な体験を心から感謝いたします。

スタッフ 平井 典子

会長テーマ字：三橋山房 書

* 訂正：2号P.4—1行目資格認証過程⇒資格認証課程

* 1号、2号掲載の「心に響く こ・と・ば」は福岡・久留米 某時計宝石店CMです

* 今期リージョン会報ご愛読に感謝申し上げます。全号通してのご感想などお寄せ頂ければ幸いです。宛先：編集者 松本敬 (No.5豊中) kei_mamoru@nifty.com

ITC日本リージョン会報 Vol.29/No.3
編集・発行：第29期 ITC日本リージョン
印刷：上野タイプ印刷(株)



ITC Pledge

ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インターナショナルトレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2010-2011

ITC日本リージョン声明文

Mission Statement of Japan Region

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.